

今日の一問 (やまだ塾)

(2008年5月14日掲載)

7/26 修正

No.17	認知症高齢者に対する今後の対応について述べよ。
解答	<p>【1】認知症高齢者の増加</p> <p>「日常生活自立度Ⅱ」(日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる)以上の認知症高齢者は、2002年の約149万人から2025年には約323万人になると推計され、今後の急速な増加が見込まれている。なお、「日常生活自立度Ⅲ」以上に限れば、2002年約79万人、2025年約176万人と推計されている。</p> <p>【2】認知症高齢者の特徴と認知症ケアの基本</p> <p>(1) 認知症高齢者の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者本人 : 記憶障害の進行→不安・焦燥感→行動障害(徘徊など) ② 家族 : 知識や理解の欠如→発見の遅れ, 受容の困難性, 虐待 <p>(2) 認知症ケアの基本⇒「尊厳の保持」</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「心のケア」: 本人のペースに合わせた対応 ② 「関係性」の重視 : 「なじみの人間関係」, 「なじみの居住空間」 ③ 「継続性」と「専門性」の重要性 : 状態変化に対応した専門的ケア(医療との適時・適切な連携) ④ 「権利擁護」の必要性 : 高齢者本人の意思の代弁 <p>【3】「今後求められる対応」として、以下の3点が「社会保障国民会議」で示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① なじみの関係が重視される, 認知症高齢者グループホーム, 小規模多機能拠点等の「基盤の整備」 ② 認知症高齢者の特徴を理解し, 認知症ケアに精通した「介護職員の育成」 ③ 認知症を早期に発見し, 適切な診断を行うことができるよう, 「認知症医療の充実」 <p>なお, 厚生労働省の「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト」において2008年7月10日に報告書が提出された。報告書は, (1)これからの認知症対策の基本方針, (2) 今後の認知症対策の具体的内容(①実態の把握, ②研究・開発の促進, ③早期診断の推進と適切な医療の提供, ④適切なケアの普及及び本人・家族支援, ⑤若年性認知症対策), で構成されている。</p>

(注)「問題 92 「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト報告書」(2008年7月10日)の概要を述べよ。」を参照のこと

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2008 Shunsaku Yamada. All rights reserved.